



Think Automation and beyond...



第73期 株主通信

第3四半期連結累計期間 (2019年4月1日~2019年12月31日)

Top Message

株主の皆さまへ

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦の影響により先行き不透明な状況が続いております。日本をはじめ、グローバルベースで設備投資需要が落ち込むなど、厳しい事業状況が続いていることに加え、円高の影響もあったことから、国内外において主力製品群の売上が減少しました。この結果、売上高は440億8千2百万円(前年同期比7.4%減)となりました。

営業利益は、主に売上が減少したことなどにより、37億7百万円(前年同期比23.3%減)、四半期純利益は26億3千

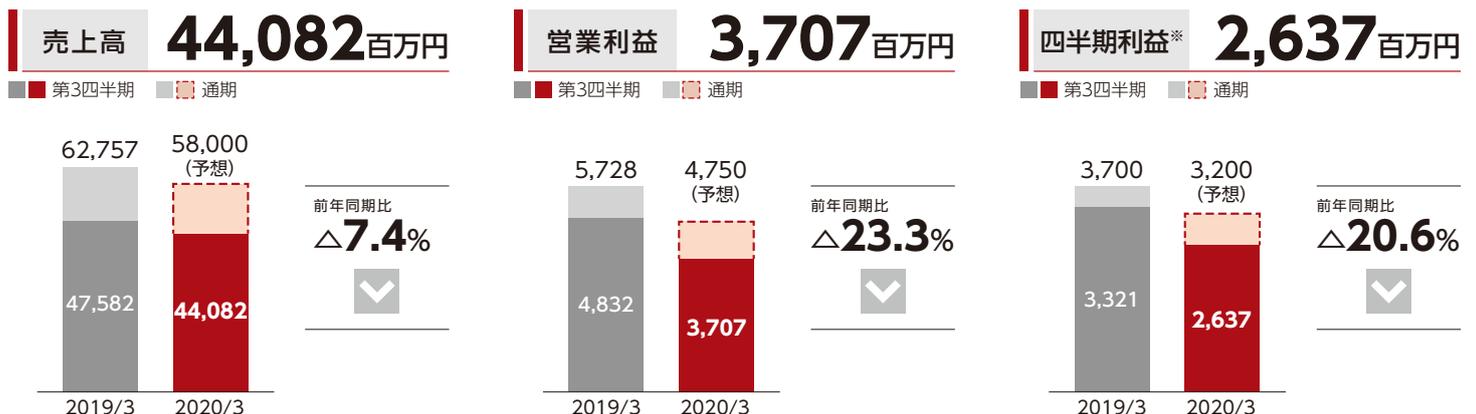
7百万円(前年同期比20.6%減)となりました。

なお、米中貿易摩擦の長期化の影響から、各地域において主力製品群の需要回復が予想以上に遅れるなど厳しい状況が続いていることから、通期業績予想を修正いたしました。通期計画の達成に向けて全社一丸となって取り組んでまいりますので、より一層のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役会長兼社長

舩木俊之

財務ハイライト



*親会社株主に帰属する四半期純利益

業績ハイライト

日本においては、自動認識機器などオートメーションソリューション製品が第2四半期まで伸長した一方、工作機械業界などの需要減速によりHMIソリューション製品をはじめとする主力製品群の売上が減少しました。

海外においては、為替の円高傾向や米中貿易摩擦の影響などにより、各地域において主力製品群の売上が減少しました。

地域別売上

EMEA (欧州、中東、アフリカ)



8,012百万円

日本



20,973百万円

アジア・パシフィック



8,223百万円

米州



6,873百万円

製品別売上

HMIソリューション

前年同期比 **△7.5%**

20,877百万円

- ・制御用操作スイッチ
- ・ジョイスティック
- ・表示灯

盤内機器ソリューション

前年同期比 **△11.6%**

7,777百万円

- ・スイッチング電源/制御用リレー/端子台などの制御用盤内機器
- ・産業用LED照明

オートメーションソリューション

前年同期比 **+2.6%**

6,626百万円

- ・プログラマブルコントローラ
- ・プログラマブル表示器
- ・自動認識機器

安全・防爆ソリューション

前年同期比 **△7.1%**

4,940百万円

- ・安全関連機器
- ・防爆関連機器

システム

前年同期比 **△12.2%**

2,069百万円

- ・セキュリティシステム
- ・各種システム

その他

前年同期比 **△13.9%**

1,791百万円

- ・協調安全ロボットシステム事業
- ・環境・エネルギー関連事業

業界初のLED球を搭載した スイッチと表示灯を新発売

new
product

Point!

主な特長

- 1つで6色を表現することができるLED球を、世界で初めてスイッチと表示灯に搭載
- より明るく、鮮やかな色となったため、記銘した文字の視認性が向上
- 色覚の個人差を問わず出来るだけ多くの人に見やすい配色であることを保証する、カラーユニバーサルデザイン(CUD) 認証を取得した製品を、オプションとしてラインアップ



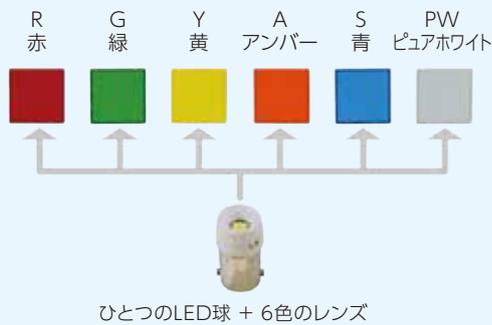
HWシリーズ



CWシリーズ

主力製品である取付穴22mmのコントロールユニットHW・CWシリーズの照光押ボタンスイッチと表示灯に、新LED球を搭載し、2020年1月に発売しました。新しいLED球は、レンズを入れ替えるだけで6つの色を表現できます。これにより、今まで複数個必要だったLED球在庫の管理工数の削減が可能となります。また、照光色もより鮮やかな色合いとなったため、記銘した文字の視認性向上を実現しました。

幅広い分野の多様なアプリケーションに対応することで、さまざまな現場の革新をグローバルに推進していきます。



活用シーン

特集

CSR月間の取り組み

IDECグループでは毎年10月をCSR月間と定め、さまざまな企画を実施しています。今回は2018年に引き続き第2回目の開催となり、日本のみならず世界の拠点でCSR意識向上のために社会貢献活動などに取り組みました。

これからも社会の皆さまの期待に応えられる企業として、CSR活動の推進に積極的に取り組んでいきます。

グローバルへの活動展開

タイ



地球温暖化対策のため、
ビニール袋の使用を削減

フランス



学生の会社訪問を受け入れ、
地域への貢献活動を実施

シンガポール



環境負荷低減を目指し、
ランチ時間にオフィス消灯を実施

SDGsフォトコンテスト

SDGs*に対する理解を深めるために、SDGsの17の目標をテーマにしたフォトコンテストを開催しました。日本、米国、中国などさまざまな国からの応募があり、CSR活動に関わる社員による投票と検討会を実施し、上位4作品を決定しました。

*SDGs(持続可能な開発目標)は、2015年の国連サミットにて全会一致で採択された世界共通の社会課題とその解決目標です。



1位受賞作品
「Child Labor」



【応募者のメッセージ】

途上国に行くと未だに観光客にお土産を売る少年少女を見かけることがあり、貧困家庭の子どもが働かざるを得ない現実を突き付けられます。



2019年11月27日から29日までの3日間、東京ビッグサイトで開催されたIIFES2019に参加しました。

ロボット革命や第4次産業革命などの進展に伴い、製造・物流現場において人と協働できるさまざまなロボットの導入が進んでいることから、IDECグループでは、人と機械が安全・安心な環境で高い生産性を維持して働くことができる、協調安全ロボットシステムや安全関連機器の開発に取り組んでいます。IIFES2019では、人とロボットが快適に協調する未来に向けて、「Think. Link. Create.」というコンセプトのもと、さまざまな業界や製造現場における労働力不足や生産性向上の課題解決に貢献する製品やソリューションを提案しました。

作業者の接近を検知し、接触する前に協働ロボットを停止することで作業者に安心感を与え、作業効率の高い生産活動を支援できる「ANSHIN Sensor」や、製造現場において人や障害物を安全に回避しながら作業者がピッキングした製品を運び、生産性向上に貢献する、自立走行・追従走行が可能な「人協調型自律移動ロボット (AMR*)」などを展示することで、IDECの強みを広く訴求しました。

これからもIDECグループは、世界一安全・安心を追究・実現する企業として、現場のあらゆる課題解決に貢献できる製品やソリューションを提案していきます。

※AMR:Autonomous Mobile Robot



展示会の様子



ANSHIN Sensor



人協調型自律移動ロボット

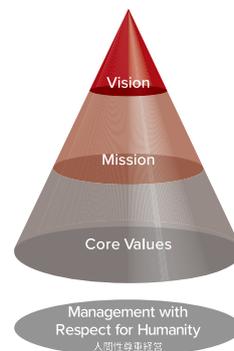
The IDEC Way

真のグローバル企業を目指していくための新しい理念として「The IDEC Way」を制定しました。

Vision —— 私たちが目指す未来

Pioneer the new norm for a safer and sustainable world.
いつも、ずっと、みんなに新しい安心を

ものづくりの未来と新たな可能性を創造し、明日の「当たり前」となる、新しいスタンダードの開拓者となります。
そして、全ての人々に幸福と安心をもたらす、より安全で持続可能な社会の実現を目指します。



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
配当金受領株主 確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人 事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	☎ 0120-782-031 (受付時間 9:00~17:00 土日祝日を除く)
公告の方法	電子公告により行います。 http://jp.idec.com/ja/aboutIDEC/ir/stockholder_info ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。

●株主さまの住所変更、買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。

IDEC公式 Facebook



IDECグループの事業活動や製品などを幅広くご紹介しています。ぜひご覧ください。

<https://www.facebook.com/IDEC.Japan/>